

(C 部門 ホームページ掲載用 講評)

多様な4生のある作品を聴かせていただき
ました。演奏をありがとうございました。

審査員の先生方からのアドバイスを伝えたく

思います。ピアノを弾く際のイスの高さや姿勢を

今一度考え、色々な音質が作りやすくなる弾き方を

探していきたいです。指はよく動かせられど、自分がその音を

十分に聴いていくことが間に合わなくなり、曲に合った

イメージを持つ音色を作ることが難しくなってしまうようです。

バランスの点では、音型、音色の弾き分けを更に工夫し、

左手の中においても、美しい調和を大切に作っていきましょう。

また強い音の際に、それらがどのような意味があるものが伝わる

ように表現できますよう、これからも様々な作品にチャレンジ
する中で探究して下さい。弾く喜びを大切に、ますますのご成長を
願っております。

新田 潤子